

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

—— 2026年9月号 No.360

9月15日(火)発行 ——



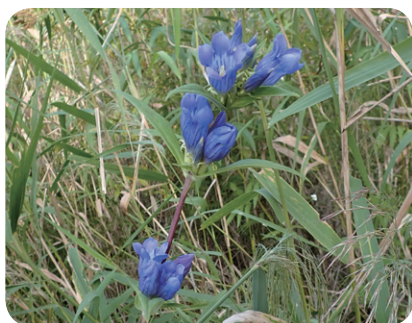
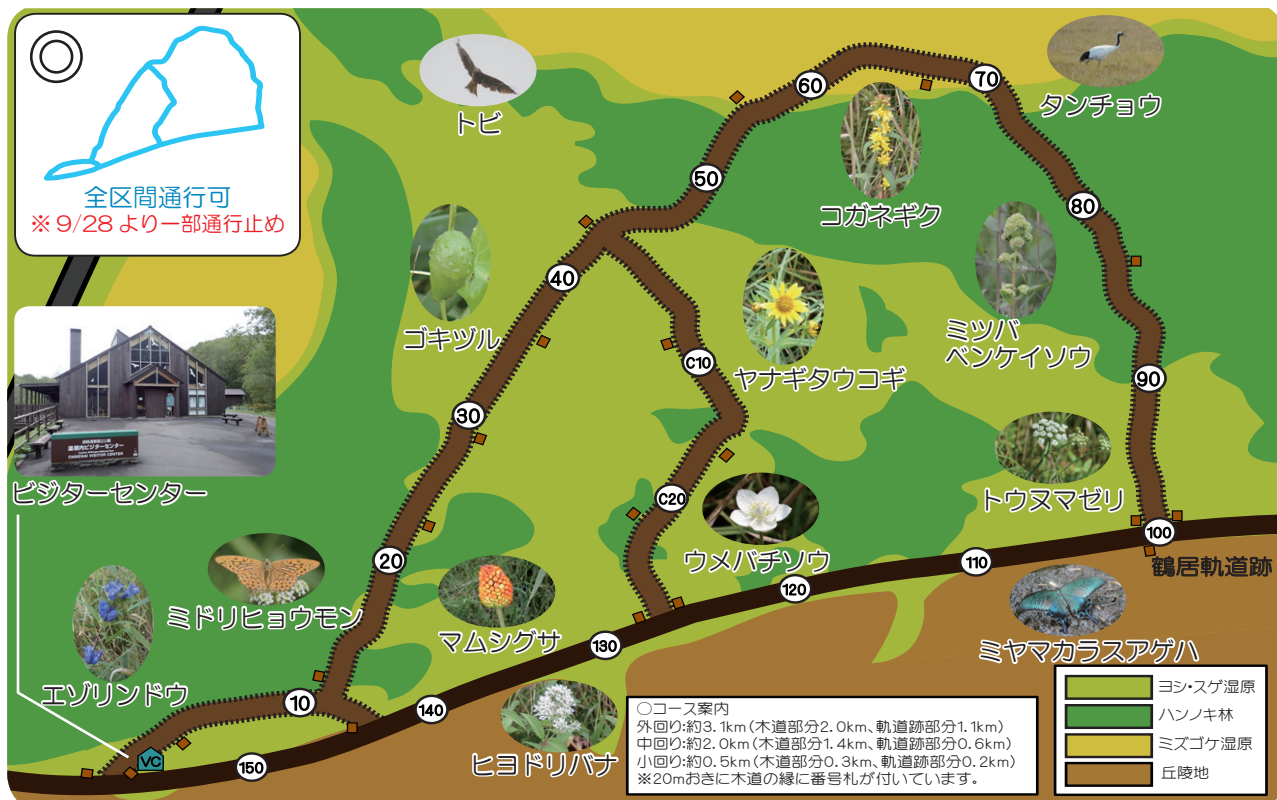
奥深いランの世界

「湿原に「ヤチラン」が咲いてるよ」という情報を寄せてくれた方がいました。現場に行って探すと、ようやくそれらしき植物が目に入ります。

間近で花を見ると、面白い形をしています。図鑑によると、本種は子房が「360° ねじれて」おり、その他多くに見られるランとは180° 逆を向いているとのこと。…そもそも多くのランが「180° ねじれて」いることも不思議でびっくりです。

参考文献：ひがし北海道の野生ラン（佐藤照雄著）

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（8/15～9/14） ☆☆☆



【エゾリンドウ】

リンドウ科 蝦夷竜胆

木道に入っすぐに鮮やかなブルーの花が迎えてくれます。わずかに開いた花から花粉を出します。



【ミツバベンケイソウ】

ベンケイソウ科 三葉弁慶草

ハノキの根際に数株が咲いていました。エゾシカの被害なのか、花を見る機会が近年激減しています。



【ゴキツルの実】

ウリ科 合器蔓

ヨシに絡まって伸びるウリ科植物。「器」を「合」わせたような、このかわいい実が和名の由来です。



【コガネギク】

キク科 黄金菊

ミズゴケ湿原を彩る最後の花です。花のつき方や数にはかなり個体差があります。



【ウメバチソウ】

ニシキギ科 梅鉢草

梅鉢紋という家紋から和名がついたとされています。ヨシ・スゲ湿原に凜と咲いています。



【ミヤマカラスアゲハ】

アゲハチョウ科

構造色が美しく、見とれてしまいます。沢水を数匹が吸水しており、じっくり観察できました。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（8/15～9/14） ☆☆☆

今号は留鳥の姿しかお見せできる程度の写真を載せることができないくらい、野鳥の観察が難しい1か月でした。それでもこれからは渡りの季節を迎え、上空にカモ科の渡り鳥などの姿が期待できます。また、丘陵地の方で注意深く鳴き声を聴いていたりすると、カラ類などの留鳥が違う種どうして混群を形成しつつあるのがわかり季節の移り変わりがわかります。



【タンチョウ】 留鳥

ツル科 丹頂

ミズゴケ湿原をつがいと思われる2羽が歩いていました。展望テラスからも見え、優雅な時間が流れました。



【トビ】 留鳥

タカ科 鷹

普通に上空で見かけますが、タカ科の中では比較的大きい種です。時折カラスに追いかけられたりも。



【エナガ】 留鳥

エナガ科 柄長

「チーチーチー」という鳴き声とともに集団で移動中でした。木の陰から少しだけ姿を見せてくれました。

○温根内木道周辺で観察された花・鳥（8/15～9/14）

花（和名は五十音順 * 外来種）	32 クサレダマ	64 ヘラバヒメジョオン*	5 クイナ
1 アキノウナギツカミ	33 クルマバナ	65 ホザキシモツケ	6 タンチョウ
2 アメリカセンダングサ*	34 ケヤマウコギ	66 ホソバアカバナ	7 オオジシギ
3 イヌタデ	35 コウソリナ	67 ホソバイラクサ	8 アオサギ
4 イヌトウバナ	36 コガネギク	68 ホソバノシバナ	9 トビ
5 イヌホオズキ	37 ゴキツル	69 ホソバノヨツバムグラ	10 オジロワシ
6 イワアカバナ	38 コメツブウマゴヤシ*	70 ミズ	11 カワセミ
7 ウシハコベ	39 サラシナショウマ	71 ミソガワソウ	12 コゲラ
8 ウメバチソウ	40 サワギキョウ	72 ミソソバ	13 コアカゲラ
9 エソイヌゴマ	41 シオガマギク	73 ミチヤナギ	14 アカゲラ
10 エソイラクサ	42 シロツメクサ*	74 ミツバフウロ	15 オオアカゲラ
11 エソオオヤマハコベ	43 セイヨウタンポポ*	75 ミツバベンケイソウ	16 アオゲラ
12 エソゴマナ	44 セイヨウノコギリソウ*	76 ミツモトソウ	17 ハシボソガラス
13 エソシロネ	45 セリ	77 ミミコウモリ	18 ハシブトガラス
14 エソトリカブト	46 チドリケマン	78 ミミナグサ	19 ヒガラ
15 エソナミキ	47 ツメクサ	79 ミヤマヤブタバコ	20 ハシブトガラ
16 エソノコギリソウ	48 ツリガネニンジン	80 ムカゴイラクサ	21 シジュウカラ
17 エソミクリ	49 ツリフネソウ	81 ムラサキツメクサ*	22 ヒヨドリ
18 エソヤマアザミ	50 トウヌマゼリ	82 ヤチラン	23 ウグイス
19 エソリンドウ	51 ドクゼリ	83 ヤナギタウコギ	24 エナガ
20 オオアワダチソウ*	52 ナガバノウナギツカミ	84 ヤナギタンポポ	25 センダイムシクイ
21 オオダイコンソウ	53 ナガボノシロワレモコウ	85 ヤブジラミ	26 コヨシキリ
22 オオヌマハリイ	54 ナギナタコウジュ	86 ヤブマメ	27 ゴジュウカラ
23 オオバセンキュウ	55 ネジバナ	87 ヤマハギ	28 キバシリ
24 オオバノヤエムグラ	56 ノブキ	88 ヤマハハコ	29 コサメビタキ
25 オオヨモギ	57 ハッカ	89 ヨシ	30 ノビタキ
26 オトギリソウ	58 ハナタデ	90 ヨブスマソウ	31 イカル
27 カタバミ	59 ハンゴンソウ	鳥（和名は日本鳥類目録第8版の順）	32 ベニマシコ
28 キツリフネ	60 ヒメジョオン*	1 ヒシクイ	33 アオジ
29 キンミスヒキ	61 ヒメムカシヨモギ*	2 マガモ	34 オオジュリン
30 クサノオウ	62 ヒヨドリバナ	3 キジバト	
31 クサフジ	63 ヒロハヒルガオ	4 アオバト	

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事を開催しました ☆☆☆☆

○「アイヌの人々が利用した植物」9月6日 参加者：13名 講師：奥田幸子（釧路アイヌ語の会）

まず館内で講師から、実は温根内周辺にもアイヌの時代のチャシ跡が見つかっており、この土地に昔から人々の営みがあったことを教わりました。その後木道に出てこの時期の植物を観察しました。マムシグサの実は赤くなると腹痛止めの薬として用いたそうで、根はうまく毒の部分をくり抜けば大変美味しいとのこと。湿原内に繁茂するガマはその繁殖力の強さから、多産の象徴として認識されていたとことで、継続的に木道を歩きガマの増える様子を見ている参加者は納得の表情でした。



☆☆☆ 今年も木道の改修工事を実施します ☆☆☆

今年も9月28日から、古くなった木道部分の改修工事を実施します。右の図に示した赤線区間は通行できませんのでご注意ください。

皆様が気持ちよくご利用できるためご理解のほどよろしくお願いします。

工事期間：令和8年9月28日

～令和9年2月12日（予定）



☆☆☆☆ イベントのご案内（10月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪絶滅危惧種ニホンザリガニを探せ！

〔日時〕10月4日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

湿原に生息している絶滅危惧種ニホンザリガニ。生息環境と近年の状況を学び、実際に探しに出かけましょう。

♪秋の紅葉を見に行こう

〔日時〕10月11日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

紅葉の季節。鶴居軌道跡の樹木を中心に色づいた木々や実を見つけに行きましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪森とキノコの不思議な関係

〔日時〕10月3日（土）10：00～12：30 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

♪いきものスタンプでトートバッグをつくろう

〔日時〕10月17日（土）13：00～15：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕600円（材料費）

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～虫ケアステーション設置～

このたび、虫刺されを気にせず木道散策をお楽しみいただけるよう、アース製薬さんのご協力で館内に虫ケアステーションを設置しました。散策の前にお立ち寄りください。



月刊 温根内通信 No. 360

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料